

記者発表票 (記者発表・資料配付)			
発表年月日	令和4年6月24日(金)	担当地方機関	丹波県民局県民交流室
電話番号・内線	0795-72-0500 (内線 217) 直通 0795-73-3724	担当課	総務防災課
発表者	県民交流室次長 日原 基	事務担当者	班長(ビジョン担当) 阪本 明功
解禁日時	<input type="checkbox"/> 無 ・ 有 (月 日 時解禁)		
同時発表先	<input type="checkbox"/> 無 ・ 有 ()		
特記事項			

「たんばユースチーム」及び「たんばサポートチーム」の結成について

1 趣 旨

「丹波 2050 地域ビジョン」で描いた地域の将来像の実現に向けて、丹波地域の次代を担う若者の意見を取り入れながら取組を推進するため、高校生・大学生・新社会人等からなる「たんばユースチーム」を結成します。

この度、チームへの参加者 33 名が決定しました。7 月 16 日に委嘱状の交付などを行なう第 1 回全体会(スタートミーティング)を開催します。

また、たんばユースチームの活動を支援する「たんばサポートチーム」も結成します。同チームメンバー 13 名が、たんばユースチームの活動への助言等により、たんばユースチームを支えています。

2 たんばユースチームの概要

(1) 目的

丹波 2050 地域ビジョンで描いた将来像の実現に向けて、丹波地域の次代を担う若者の意見を取り入れながら取組を推進するため「たんばユースチーム」を結成します。

(2) 募集結果

令和 4 年 3 月 25 日から令和 4 年 5 月 11 日まで参加者を公募し、高校生、大学生、新社会人等で概ね 30 歳までの丹波地域に関わりのある 33 人から応募がありました。内訳は下表のとおりです。

(3) 活動

今回の第 1 期メンバーは、原則令和 4 年度及び令和 5 年度の 2 年間活動します。チームは、「丹波 2050 地域ビジョン」で策定した「シンボルプロジェクト」へのアイデア提供や活動への参画、広報活動などの役割を担います。

【参加者の構成】

区分	人数
高校生	12 人
大学生・専門学生	5 人
社会人	16 人
(商工団体等)	(3 人)
(教員等)	(4 人)
(地域おこし協力隊)	(2 人)
(丹波篠山市・丹波市・県民局)	(7 人)
合計	33 人

3 たんばサポートチームの概要

(1) 役割

「たんばユースチーム」の活動にあたり、同チームの求めに応じて支援する役割を担います。支援内容は、活動内容への助言や事例紹介、データ提供など可能な範囲で行います。

(2) 任期

たんばユースチームの活動期間に合わせて、令和4年度及び5年度の2カ年活動します。

(3) メンバー

たんばユースチームメンバーの少し上の年代である概ね30代から40代の方で、幅広い分野の方々に協力をいただき、当初は13人からスタートします。今後は、たんばユースチームの活動に合わせて、支援が必要な分野を専門とする方々に、順次メンバーになっていただく予定です。

当初メンバー13人の内訳は下表のとおりです。

区分	氏名	役職等
学識経験者	清水 夏樹	神戸大学大学院農学研究科 特命准教授
学識経験者	青木 嵩	大阪大学大学院工学研究科 助教
学識経験者	福本 優	兵庫県立人と自然の博物館 研究員
学識経験者	司馬 麻未	関西学院大学建築学部 助手
教員	川上 誠司	県立篠山産業高校 教諭
教員	神崎 悠哉	県立氷上西高校 教諭
商工業	太田 辰弥	一般社団法人丹波青年会議所 理事長
商工業	頼金 義人	一般社団法人丹波篠山青年会議所 理事長
農業	大坂 宇津実	株式会社 AGRI STREET 代表取締役
地域づくり	中川 ミミ	一般社団法人 Be 代表理事
地域づくり	戸田 幸典	特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構 代表理事
地域づくり	西尾 雅子	一般社団法人アグリステーション丹波ささやま 代表理事
地域づくり	恒松 智子	株式会社ご近所
合計		13人

4 たんばユースチーム第1回全体会（スタートミーティング）の開催

(1) 日時

令和4年7月16日(土)13:30から2時間程度

(2) 場所

丹波の森公苑 多目的ルーム(丹波市柏原町柏原 5600)

(3) 開催内容(予定)

- ・丹波2050地域ビジョンについて
- ・たんばユースチームの今後の活動予定
- ・活動テーマの検討
- ・委嘱状の交付
- ・記念撮影 など